

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム おおぞら
日付	平成17年11月17日
評価機関名	有限会社 アウルメディカルサービス 評価調査員：薬剤師・介護支援専門員 大学教員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！)	

外部評価の結果

<p>概評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>(記述式)</p> <p>新興住宅街の一角にあるグループホームであり、一見普通の住宅として素通りしてしまうほど、アットホームな感じがベランダや庭に干してある布団などから見て取れます。又、ホーム長が非常に謙虚な方であり、今まで業務消化に追われ何の取り組みも出来ていなかったので、初めての評価から何かを培おうと前向きに対処し、現状に自己満足することなくサービスの質の改善意欲に希んでいます。そして、職員とのコミュニケーションも押し付けるではなく、上手にのびのびと力を発揮できるよう場を与え、職員もそれに答えていくように努力されています。</p> <p>1階と2階でそれぞれ犬が飼われており、放し飼いですが良く躡られており、とても人懐っこいので、入居者に変喜ばれて、入居者の励みとなっています。入居者への衛生面も考えていて、忙しい職員ではありますが毎日の消毒は欠かしません。さまざまな面から家庭的な雰囲気大切に、入居者にあったケアを目指しています。</p> <p>そして、入居者が閉じこもりにならないよう、週3回は買い物に出かけています。外食も月1回は出かけるようにして楽しさを倍増する心がけをも取り組んでいます。ホームと家族との交流として月に一度、ご家族の意見や要望を聞くためにホームへ来ていただき、日常の様子に関する情報提供も随時行っています。</p>
<p>改善の余地があると思われる点(記述式)</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録を誰のため、何のためにつけるのか 今一度考え直して記録のつけ方や項目を整理しなおすと良いと思います。入居者との時間を多く持つために記録を簡素化することは重要ですが、決まりきった日課のみを羅列するだけでは印を押すだけでも充分で、あくまでも施設としての役割を感じ取りながら、単なる消化で終わってしまう現状から脱却することが望ましい。 家事に関する生活リハが少ないように感じます。無理に頼む必要はありませんが、昔の経験を活かすことは残存能力の維持に有効で、職員からお礼を言われることで認知症の進行過程で失われていた自信の回復につながると思われます。 グループホームの建物が十字の形になっているため見守りがしにくくなっています。職員一同、安全性を前出すること、意識立つ位置を考え、注意力を高める必要があると思います。 業務に追われていて何も出来ていない現状から、今後目標を持った施設作りをすることが望ましい。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	(記述式で回答) 家庭的な雰囲気を大切に、食事とおやつ以外、できるだけ日課(プログラム)は作らないようにし、入居者の気持ちを汲み取りながらその人にあったケアをめざしています。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) ホーム内にゆったりとしたリビングがあり、各階には犬が飼われています。犬は放し飼いで、入居者には大変喜ばれています。そして衛生環境を保つために、日々の消毒は欠かしません。 又、入居者と一緒に散歩をしたり、自宅の近くまでドライブします。ご自分の家を見ると安心するようです。帰宅願望の強い人は時間帯によっては外に出ようとなります。そのときは入居者とよく話し、庭に出て気分転換を図ります。必要なときは家族の方にも協力をお願いしています。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	ブライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	(記述式で回答) お年寄りの経験を生かして、漬物を作ることがあります。又、個室に他の居住者が入ってきてプライバシーが侵害されないように、部屋の前には入居者の顔写真を貼っています。部屋の扉に、覗き窓などは設けられていません。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	ホーム長は、非常に謙虚な方であり、足りないことがあれば改善する意欲に富んでおられます。外部や母体の老人病院の勉強会にも参加され、他のグループホームの見学もされています。今後、ホーム内の勉強会も行う予定です。 職員の採用は、資格があること、経験者であること、人柄(入居者の立場に立てる)の3点を重視し採用し、資格があっても就業経験がない方には実習を行ってもらっています。		